

三沢での実習を経て

弘前大学医学部医学科5年 木村研太郎

弘前大学5年木村研太郎です。11月28日から12月23日までの1ヶ月間、三沢病院の外科で実習をさせていただきました。

もともと外科に興味があり、また三沢病院では手技を多くやらせてもらえるという話を聞いていたため、実習が始まる前から三沢に行くことを非常に楽しみにしていました。いざ実習が始まると、予想していたよりやらせていただけることが多く、とてもいい経験を積ませていただきました。



実習をしている中で常に意識していたことは、お客さんにならないということでした。三沢病院で初めて入った手術で先生から「実習生ではなく、ここでは戦力の一人だ」と言っていただきました。これまでの大学病院での実習は、自分が治療に直接関わることが少なかったため、その言葉は非常に嬉しいものでした。同時に、中途半端では多くの方に迷惑をかけてしまうと、気が引き締まりました。この言葉のおかげで、常に自分に何ができるか、先生方から何を求められているかを考えながら1ヶ月実習をすることができたと思います。お客さんにならないために心がけていたことは、わからなかったこと、できなかったことを次の機会までに改善しておくということでした。実習をしていく中で、自身の勉強不足から、術式や合併症、解剖について、理解が及んでいない点が多く出てきました。そういったことを次の日には、また同じような疾患にあったときには、しっかりと理解しておくことができるよう、日々の学習を積み重ねていきました。また、手技に関しても、2度目にチャンスをいただいたときに自信を持って行うことができるよう、できなかった理由を考え、少しでもうまくできるよう努力しました。なんとなくではなく、考えながら勉強を行う、こうしたことの積み重ねにより、三沢での1ヶ月の実習で自分は成長できたと思います。

三沢は街としても他とは違う魅力のある場所でした。日本にいながら、日本にいるとは思えないような経験をすることができました。街に出ることが楽しく、得難い経験をすることができた、そんな三沢という街で1ヶ月間も生活することができたのは自分にとって良い経験となりました。

最後に、松本先生、池永先生、澤野先生、神田先生、研修医の先生方をはじめとする先生方、看護師の皆さん、さまざまな方々のおかげで、素晴らしい1ヶ月間を過ごすことができました。本当にありがとうございます。三沢で得た経験を活かし、良い医療者となれるよう、研鑽を続けていきます。

2022.11.28~2022.12.23